

花畑周辺地域バス検証運行の基本的な考え方について（抜粋）

項目	内容
収支率	<ul style="list-style-type: none"> ・収支率は、24%以上とします。 ・検証運行の結果、収支率が24%未満の場合、本格運行は実施しません。 <p>＜収支率＞ バスの運行経費に対する運賃等の収入の割合のこと</p> <p>【計算式】</p> $\text{収支率} = \frac{\text{運賃収入(バス利用人数} \times \text{利用頻度} \times \text{運賃}) + \text{広告収入や協賛金}}{\text{運行経費(人件費, 燃料費, 車両修繕費, 利子, 諸経費等)}} \Rightarrow \text{24\%以上}$ <p>※ 車両償却費は、収支率を算定する際の運行経費には含めません。</p>
検証期間と本格運行までの流れ	<ul style="list-style-type: none"> ・検証期間は、最長2年間とします（下図参照）。 <p>【図 検証運行から本格運行への流れ】</p> <p>※検証運行は、残り1年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月の利用実績を基に半年毎に平均収支率の検証を行います。 ・1年間（6ヶ月を2回）の平均収支率が24%以上であれば本格運行とします。 ・1年間（6ヶ月を2回）の平均収支率が24%未満である場合は、運行計画の見直しやワンボックス車両での運行を再検討します。
本格運行	<ul style="list-style-type: none"> ・本格運行中も、半年ごとに収支率の検証を行います。 ・収支率が2年間連続して24%未満の場合は、バスの運行計画を再度見直します。 ・検証運行において収支率24%を達成することを確認した上で本格運行に移行しているため、本格運行期間中、区は運行経費に対し最大76%（不足額分相当）までしか負担しません。